

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【公開番号】特開2016-154918(P2016-154918A)

【公開日】平成28年9月1日(2016.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-052

【出願番号】特願2016-90564(P2016-90564)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月15日(2016.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と

、  
前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材における第1板面部を第2板面部に対して屈曲させて、遊技媒体に設けられた線材の進入しうる隙間が形成された不正防止部材を具備し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な誘導部が設けられており、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

前記通過口は、遊技媒体が通過可能な開口と、遊技媒体が通過不能であるものの遊技媒体に設けられた線材が進入可能な開口と、が連続して形成されたものである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と

、  
前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材における第1板面部を第2板面部に対して屈曲させて、遊技媒体に設けられた線材の進入しうる隙間が形成された不正防止部材を具備し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な誘導部が設けられており、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

前記通過口は、遊技媒体が通過可能な開口と、遊技媒体が通過不能であるものの遊技媒体に設けられた線材が進入可能な開口と、が連続して形成されたものである

ことを特徴とする。

また、本発明とは別に開示する別発明の手段を以下に示す。

手段1：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が上部における左右方向一方側へ向かって打込まれる遊技領域と、

該遊技領域における前後方向に対して直角方向の外周を区画する枠状の前構成部材と、

該前構成部材の後側に取付けられると共に前記遊技領域の後端を区画する板状の遊技パネルと、

該遊技パネルの前面で前記遊技領域内における左右方向の略中央に配置され、遊技媒体の通過を契機に所定の特典を付与することが可能な特典付与領域と、

該特典付与領域の上流へ遊技媒体を誘導可能とされ、前記遊技領域内における前記遊技パネルの前面に植設される複数の障害釘と、

該障害釘とは異なるルートで前記遊技領域内の所定位置から前記特典付与領域の上流へ遊技媒体を遊技者側から視認可能な状態で転動案内しトンネル状に形成された案内部材とを具備する」ものであることを特徴とする。